

大谷第四自治会会報

平成 29 年 2 月発行
第 354 号 28 年度第 10 号

2 月 5 日（日）13 時 30 分から自治会館で第 10 回役員会が開催されました。主な決定事項や連絡事項をお知らせします。

《平成 29 年度役員候補者 役職決定》

次表の通り来年度の役員候補の役職が決まりましたのでお知らせいたします。

役 職	役員候補者（敬称略）	役 職	役員候補者（敬称略）
会 長	矢部 正美（7 班）	広 報	石井 康雄（8 班）
副会長	金澤 源（9 班）	環境衛生	嶋田 廣昭（5 班）
	須田 修（14 班）		多田 郁夫（10 班）
総 務	後藤 譲（1 班）	会 館	中村 剛（11 班）
	向井 純二（3 班）		武田 克彦（12 班）
	内藤 邦夫（13 班）	会 計	奈須 清志（6 班）
広報	領家 和子（4 班）	監 事	馬場 敏伸（1 班）

《平成 28 年度二回目自主防災訓練について》

平成 29 年 2 月 26 日（日）、当日 10：00～11：00 自治会館内で【災害時用のアルファ米の炊き方・配膳の訓練】と試食会を行います。試食品はテイクアウトも出来ますので、皆様の参加をお願いします。

《団地内の環境改善について》

さいたま市下水道局管理課に要請していた遊水池の巨木メタセコイア 7 本は全て 1 月 17 日・18 日に伐採していただきました。

《自治会館からのお知らせ》

- ・雨戸の落とし鍵開閉時の固さは、全箇所注油し・動作、建付け・鍵穴位置等を修理調整し、玄関脇の暗証番号型鍵格納箱の開閉時の固さも注油、修理しました。

《上部(外部)団体会議等への参加報告》

大谷自警消防団 平成 29 年度 総会（1/22）

七里総合公園最終処分場対策連絡協議会 賀詞交歓会（1/28）

《お知らせ》

＊訃報

榎本隆様（14 班）1 月 12 日に 79 歳で逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

＊転出

加藤友理様（10 班）1 月 29 日に転出されました。

下掲の 2 案件を総会議案として提出を考えております。役員まで皆様の忌憚ないご意見を戴ければ有難いです。

議案 1 《自治会館を災害時に避難所とする》

身近な地域の防災拠点として自治会館を避難所として活用する「大谷第四自治会避難所運用規則」が平成 28 年 2 月 7 日付けで承認されました。

・提案理由

役員会で大谷小学校避難場所運営訓練に参加し、大谷第四自治会館を避難所として利用する必要性を痛感した。

- ①地域防災拠点である大谷小学校の小規模備蓄倉庫には限度があり、物資備蓄が充分ではない。
- ②避難所となる大谷小学校体育館は、日生住宅住民に割り当てられるスペースが 24 名ほどと僅かである。
- ③日生住宅から避難所まで約 800 メートルあり高齢者には厳しい距離である。
- ④体育館で長期の避難生活は高齢者にとって厳しい。

議案 2 《費用補助金を同好会へ支給する》

・提案理由 同好会活動へ的高齢者の参加を促すため、通信費などを補助する。

・現況

- ① 現在、悠遊クラブ、子供会に補助金を支給しているが、その他の同好会には支給していない。
- ② 自治会が加入している賠償責任保険証券は、自治会活動下での傷害を補償すると謳われている。
- ③ 自治会が同好会に費用補助金を支給することで、同好会が自治会活動の下で活動している証になる。

・補助金の支給基準

会員数	5～10 人	：	5,000 円/年
	11 人～	：	10,000 円/年

*会員数とは日生住宅の住民数

*支給は会員名簿の会員数で渡し切り支給とし、用途は同好会の任意とする。

以上